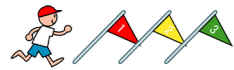


## 【街のトピックス 渋谷西地区社協への協力団体紹介】



### ★渋谷西地区体育振興会★



渋谷西地区体育振興会は、スポーツを通じて地区にお住まいの皆さんの地域連帯感を深め、住民相互の親睦と健康の増進を図ることを目的に活動を進めています。

体育振興会は市内に10地区あり、地区毎に年間行事を実施しています。体育振興会とは別組織として、地区内のスポーツ団体が学校施設の使用調整を行う『学校施設スポーツ開放事業』を体育振興会の役員を中心に行っています。

当振興会は昭和53年に渋谷地区が東西に分かれ誕生し今年で46年目を迎えました。

活動は地域の皆さんが気軽に参加頂ける行事を計画しており、特に10月に開催した体育祭は昨年46回を数え種目も時代と共に変化し、運営は各自治会や地区内スポーツ団体の協力も頂き開催しています。時代の変化と共に年齢層やニーズの変化もあり自治会によっては選手選出に苦慮することもあり、種目や出場選手の人数も今後の検討課題です。室内での盛り上がり行事は綱引き大会です。強豪チームに対し今年こそはと闘志を燃やしているチームもあり白熱した試合は必見です。

また幅広い年齢層の方を対象に「グラウンドゴルフ大会」「スポーツレクリエーション」や「歩こう会」を実施し、不定期でニュースポーツ教室も開催しています。コロナ禍で計画した活動を自粛せざるを得ない状況でしたが、令和5年度は計画した行事をほぼ実施してきました。

皆さん、屋内外で思い切りスポーツができる時期がまいりました。共に笑顔でスポーツを楽しみましょう。これからも振興会の行事にご注目頂き、お気軽に行事への参加をお待ちしています。

## ふるさと雑感 - 5 - 代官1-19-12所在「鬼子母神」の由来

市指定天然記念物タブノキの西側40m位の所に生垣に囲まれ分かりづらいですが、赤い屋根のこぢんまりとしたお堂「鬼子母神」があります。

この鬼子母神の由来は、当所の主保田氏の夢枕に神様が現われ『当家と隣家保田家の境界の所は、昔鎌倉北条時代の落武者の骨を埋めた場所である。落武者の成仏のために鬼子母神として祭祀せよ。また下隣保田家に勧請する吉宗稲荷は落武者の家来ならば鬼子母神と共に合祀せよ』とのお告げでありました。

依りて、当家・隣家・下隣家3名合議の上資材を提供し、広く浄財を仰ぎお堂を建立し、鬼子母神御神体は鎌倉仏師に依頼しお堂に安置しました。

明治25年3月28日に部落人はもとより、広く世間の信者を招き御堂落慶御題目を執行しました。なお、現在は当家・隣家・下隣家により維持管理されています。

【余談】鬼子母神と怖そうな名がついているのはこの仏がもともとは人間の子を取って食べる鬼女だったからです。その所業に人々は釈迦に助けを求めます。釈迦は一計を案じ500人もいた鬼子母の子ども一人を隠してしまいます。うろたえた鬼子母は釈迦に泣きつきました。「500人のうち一人でもつらいのだから、子を食われた母親の苦しみ分かるだろう」と釈迦はさとしました。改心した鬼子母は他人の子どもまで合わせて育てるよい仏になりました。

「鬼」の最初の「ノ」は鬼の角に見えることから、よい仏になった以降は角に見える「ノ」を省略した文字を使用することが多くなりました。

ちなみに、本文の鬼子母神の扁額の「鬼」も「ノ」が省略されています。



昨年は大正12年の関東大震災から100年目にあたりマスコミ等で防災啓蒙活動が盛んでした。大震災で大和市（当時は北部の大和村と南部の渋谷村）では渋谷村に被害が集中し、被害は家屋全壊366戸、半壊533戸、

死者21人、負傷者19人に達しました。また、朝鮮人暴動のデマが広まりましたが、市内では朝鮮人に対する迫害事件は起こりませんでした（出典：中学校社会科副読本大和）。「災害は忘れた頃にやってくる」日頃から防災と正しい情報の入手に心がけましょう。



## 渋谷西 社協だより

第72号  
2024.2.1

発行：渋谷西地区  
社会福祉協議会  
編集：広報担当  
印刷：県央福祉会  
「ワークス桜舎」



～誰もが暮らしやすい福祉のまちづくり  
みなさんの参加で活動を進めましょう。～

### 一人暮らし高齢者のバス旅行 旧吉田茂邸観覧と花菜ガーデン散策

今回は「迎賓館赤坂離宮」の観覧を予定していましたが、予定日の令和5年11月28日の週は観覧非公開が続いていたので急遽予定を変更、大磯の「旧吉田茂邸」に決定しました。当日は朝から快晴で雪を抱いた富士山に招かれるように渋滞もなく旧吉田茂邸に到着しました。邸は手入れが行き届いた庭の中に数寄屋造りの2階建てで、2階「金の間」（賓客をもてなす応接間）からは箱根の山の向こうに雪を被った富士山、左に目を移すと相模湾が一望でき、絵はがきの様な光景で、観覧者の多くがその光景をスマホで写真撮影していました。吉田茂といえば葉巻と白足袋が有名ですが、白銅製白足袋の置物があり足袋のサイズが思ったより小さく、また使用していたベッドも小さく親近感を覚えました。



昼食は雲一つない青空の元白波が立つ太平洋を見ながら海鮮料理で舌鼓を打ち、そのあと平塚の花菜



ガーデンでは鉢植えバラのオンパレードで著名な「プリンセスミチコ」とは別に「マサコ」「プリンセスアイコ」のバラがあることを知り、枯らさないよう気を使うだろうと邪推しました。

途中花畑の中で我々と同年配の高齢者10数名の男女が植栽の仕事をしており、この人たちのおかげで、ガーデンが維持管理されているのだとつくづく頭の下がる光景を胸に込めガーデンを後に帰路につきました。

### 自治会役員・部会員研修を行いました！ ～フードドライブについて～

自治会役員・部会員の知識向上を目的に毎年実施している研修会で今回は令和5年6月29日に実施しました。

内容は「フードドライブ」について、大和市社会福祉協議会ボランティア振興課の石川彰子さんにご講義いただきました。

「フードドライブ」とは、各家庭で余った食品を集め、専門の団体や地域の福祉施設に寄付する活動です。貧困格差が全国的にも話題になっている中、参加者から積極的な質問もあり、有意義な研修となりました。

研修後には、参加した自治会から大和市社協へ食糧品の寄付がありました。大和市社協では今年度定期的にイオンモール大和で実施しています。皆さんも協力してみませんか？





## 4年ぶりに開催「フィールドディサマー」

令和5年8月5日渋谷西地区青少年指導員と渋谷西地区社協の共催による4年ぶりの「フィールドディサマー」が下福田小学校を会場に児童16人、先生4人、青少年指導員8人、社協10人で開催されました。

ゲームは割りばし鉄砲の的当てや輪投げなどで気持ちがはしゃぎ、工作では小さな空ペットボトルで作るスノードーム、牛乳パックで作るキューブ、ブンブンごまなどをワクワクしながら作りました。ビンゴゲームで気持ちが高ぶったり、そして、手ぬぐいで作った半天にはできばえに驚きでした。たくさんのおやつやお土産をもらい、大変に楽しい一日でした。とくに工作では目を輝かせみんな一所懸命やっていました。これを機会に身近なものでもうまく利用し、工夫さえすれば面白いものができることを体験したと思います。猛暑の中、学校の協力で体育館ではなく、涼しい



家庭科室・図工室での楽しいひと時を過ごすことができました。本当に素晴らしい「フィールドディサマー」でした。関係者の皆様ありがとうございました。



手ぬぐい半天

## 3年半ぶりに「男性料理教室」再開

新型コロナで中止になっていた男性料理教室が3年半ぶりに開催されました。本事業は平成21年度に新規事業として第1回男性料理教室は9人の方が参加し、食生活改善推進委員が先生で「たららの吹き寄せあんかけ」や「里芋と生揚げの炒め煮」などを調理したと記録に残っています。以降年2回ずつ実施してきましたがコロナの期間は中止を余儀なくされました。

今回は21回目で令和5年9月20日福田コミセン実習室を利用し参加者6人で「ご飯」「豚肉と小松菜の中華炒め」「しめじと赤プリカのミルクスープ」「オクラとちりめんじゃこのピクルス」の料理です。

先生が用意してくれた食材を生徒はレシピを片手に、ワイワイ言いながらの包丁さばきや調味料の計量カップでの分量等先生の指導のもと調理し、自分達の作った料理に自己採点と先生の評価を頂きながら食べました。次回は9月に福田コミセンで開催予定です。

参加希望者は事務長遠田(えんた) ☎090-7703-9295 まで申し込み願います。



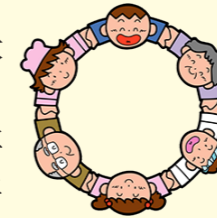
## 令和5年度共同募金で15,535円の寄付がありました

神奈川県共同募金会大和市支会と共同で渋谷西地区社協では「赤い羽根募金」は街頭募金ではなく、10月12日の社協部会の中で部員を対象に実施し、募金額は8,199円でした。「年末たすけあい募金」は高座渋谷駅西口で12月6日午後2時～3時に部員10人で実施し7,336円の募金で合計15,535円になり、募金は共同募金会に届けました。皆様のご支援・ご協力ありがとうございました。

## 関東大震災から一世紀 ～もしもに備えて準備、みんなで避難！～

Q. 幸ちゃん

ニュースで去年は関東大震災から100年目になって言っていたよ。東京ではかなりの被害があったみたいだけど、大和はどうだったのかな？



Q. 幸ちゃん

防災マップには地震が起こった時の対応についても書いてあるんだね！いい機会だから、改めて見直しておこう。高齢者の場合、災害が起きても一人では避難できない時もあるよね、そういった時はどうするの？

A. 福おじさん

そういった時に備えて「避難行動要支援者支援制度」というものがあるよ。これは自己申告制度で70歳以上の高齢者や障害、難病を抱えた人などが対象で、市に申込みと避難行動要支援者名簿に登録され、名前や住所など必要な情報を自治会・民生委員・地区社協などに提供するよ。災害発生時には自治会や民生委員が近隣の人と連携して避難支援や日頃の見守りをするんだ。

A. 福おじさん

大和市でも被害が甚大で、多くの家屋が全壊し、21人が亡くなったんだ。

Q. 幸ちゃん

災害に備えてしっかり準備をしておかないといけないね。具体的にどういったものを準備しておけばいいのかな？

A. 福おじさん

大和市では「防災マップ」を作成しているよ。そこには防災についての情報がたくさん載っているんだ。マップをよく見て準備しておくといいよ。

A. 幸ちゃん

地域の人みんなで避難できるように日頃から声を掛け合っておくのが良いよね。

## 非常持ち出し品・備蓄品

### 非常持ち出し品

#### ●非常食・水

- 非常食(レトルト食品や缶詰など)
- 飲料水
- ミルク(粉・液体)・離乳食

#### ●道具類

- 懐中電灯(予備電池含む)
- 携帯ラジオ(小型・多機能型)
- 携帯電話・充電器(モバイルバッテリー含む)
- 笛やブザー

#### ●生活用品

- タオル類
- 着替え(体温が調節できるもの)

#### ●衛生用品

- 携帯トイレ
- トイレ用ペーパー
- ウエットティッシュ
- 歯磨きセット(洗口液なども)
- 紙おむつ(幼児・高齢者用)
- 生理用品

### すぐに避難が必要な時に、持ち出すもの

#### ●貴重品

- 現金
- 身分証明書
- 健康保険証

#### ●医薬品等

- 救急セット
- 常備薬・持病薬
- お薬手帳(写し含む)

#### ●安全対策品

- 防災ずきん・ヘルメット
- 軍手・手袋
- 雨具(レインコートなど)
- スリッパ

#### ●感染症対策用品

- 使い捨てマスク
- 体温計
- 消毒液

※リュック等に入るぐらいの量にし、重くなりすぎないようにしましょう。



### 備蓄品

最低3日分～1週間分を目安に備蓄

#### ●食料品など

- お米・アルファ化米
- 缶詰・レトルト食品
- 飲料水(1人1日3L目安)

#### ●生活用品

- タオル類
- 着替え(上着、下着など)
- 毛布
- ランタン
- 卓上コンロ(ガスボンベ含む)

#### ●衛生用品

- トイレ用ペーパー
- ビニール袋
- ウエットティッシュ
- 水のいらないシャンプー

防災マップやその他防災についてのお問合せ  
大和市 市長室 危機管理課 ☎046-260-5777  
避難行動要支援者についてのお問合せ  
大和市 健康福祉総務課 ☎046-260-5604

### 避難行動要支援者支援制度 対象者

- ① 70歳以上の一人暮らし、もしくは世帯全員が70歳以上の高齢者世帯
- ② 身体障害者手帳1級または2級の方
- ③ 療育手帳A1、A2の方
- ④ 精神障害者保健福祉手帳1級の方
- ⑤ 要介護3～5の方
- ⑥ 難病指定を受けている方、医療機器を使用している方
- ⑦ その他支援が必要と判断される方